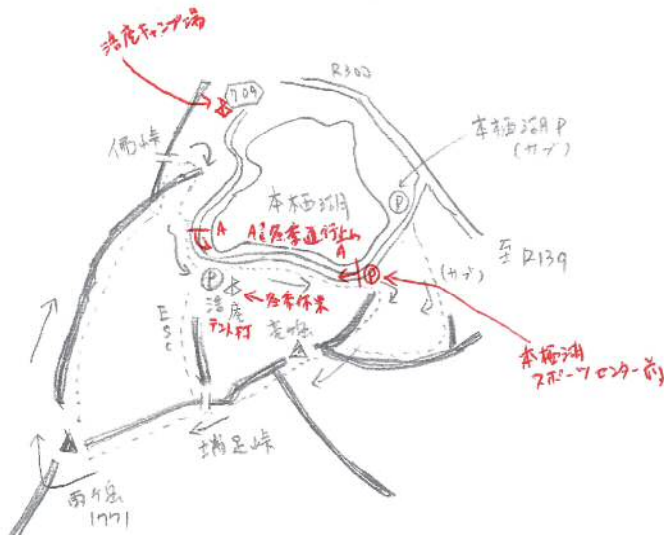


竜ヶ岳・雨ヶ岳

2024年2月10(土)

L: 齋藤



2月10日(土)

この週の月曜日。関東周辺に強い寒気が入って東京都内でも雪が積もった。ということは週末の富士辺りは多少でも雪が残っているのでは？と期待して竜ヶ岳を計画した。本栖湖畔の西南端にある浩庵キャンプ場から公道を歩いて湖畔南東側から入山。竜ヶ岳と雨ヶ岳へ。雨ヶ岳山頂からは一般道では無いが、北へ4kmほど歩けばちょうど浩庵キャンプ場の近くに下山できるっぽい。下山後はそのままキャンプを楽しんで翌日は帰るだけという行程だ。

当日朝、キャンプ場に向かったが、冬季用ゲートが閉められていてスタート地点まで進入できず。本栖湖スポーツセンター前の空きスペースに駐車した。そこ

はちょうど竜ヶ岳への登り口であった。約3.5kmの湖畔を、行きに歩くか帰りに歩くかの違いなのでよしとしよう。現地に着いて思ったのは予想外に雪が多い。油断していた。冬靴持ってない……。既に3パーティが入山準備をしているが、皆、冬靴にスパッツである。



しっかりと積雪

ま、登れるだけ登って、しんどかった

ら帰ってこよう。でも雨ヶ岳まで行ってピストンはしんどいな。雨ヶ岳まで着いたらそのまま決行だよな。



チェーンスパイクがんばれ



ざくざく。ひざ下。

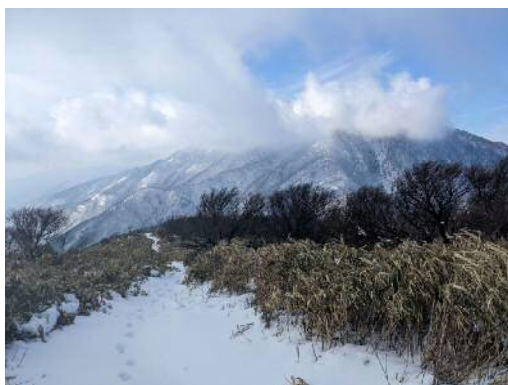
竜ヶ岳山頂までに出会ったのは出だしの3パーティだけ。早々に追い抜いてしまったので、お先に山頂を楽しませてもらった。悪くない天気だったが、山頂は

曇っていて富士山が見えず。



惜しいなあ

さて、ここからが始まり。雨ヶ岳方面を見渡す。



遠いな、しかもあと300m程上げるのか

冬靴もピッケルも無いので少々不安な気持ちで足を進めた。端足峠まで下った後、続いて雨ヶ岳までの約2kmの登りが始まる。キャンプをするつもりで寝袋や食料をザックに詰め込んで登っていたので、はっきり言って重くてしんどい。でも万が一泊まらなければならぬ状況になったとしても十分にビバークできる装備があるのは大きな安心。キャンプ場は雪。と書いてあったのでピッケルは無いけどスコップは持っている(笑)。

汗をかきながら登っていると上からカップルが下りてきた。話を聞くと、雨ヶ岳から毛無山方面へ行こうとしたけれどトレースが無かったので引き返したとのこと。ふーん、ちょっと不安になるじゃん。一般ルートではない北側はまずノートレースだろうなあ。あれこれ考えても仕方がないので歩く。途中で見たトゲトゲした雪が可愛かった。



どういふ気象条件の時に出来るのかな

本気で疲れた～というところでやっと山頂。そしてお決まりのように富士山は見えぬ。



かなりお疲れです

雨ヶ岳山頂が12時半。キャンプ場のチェックインが16時半。残り4時間である。

下山まで未知の雪道ルートが約4km。小ピークはちょこちょこあるが基本的に下り。紛らわしい支尾根は無いので、コルと小ピークを確認しながら歩いていけば余裕で間に合うはず。ただ気になるのは、キャンプ場への道路が封鎖されていたこと。もしも反対側の道路も封鎖されていたらキャンプ場に行けないよね。実はずっと気になっていたけれど、なるべく考えないようにしていた。それは**もしかして同じ浩庵キャンプ場でも場所が違うじゃね？**ってこと。湖畔の北西角に、もうひとつ同じ浩庵キャンプ場があるみたいで……。もしもそこだとすると、未知の雪山を約4km、そこから湖畔沿いを約3.5km、計約7.5kmを歩き、ジムニーに乗って本栖湖を左回りにぐるっと約8km回りこまなければならない。とすると時間が相当ギリギリ。疲れているけれど、休憩はそこそこにして佛峠に向かって歩き始める。

雨ヶ岳からは想定通りのノートレース。さあ、行ってみよ～。



方向は合っている

積雪深は30cmくらいか。たまにブッシュに引っかかってつまずきそうになったりするが、良いペースで雪道を下って行く。道間違いの登り返しだけは絶対にしたくないと思うほどの良いペース。ちょいちょいブッシュに引っかかっているうちに左足のチェーンスパイクのチェーンが切れてしまった。チェーンって弱いよね。帰宅したらまた直さなきゃ。こんもりしたまっさらな小ピークも独り占め。のんびりする時間は無いけれど。



寝転んだら気持ちよさそうな小ピーク



分かりにくい所が多い

ずっと樹林に覆われていて道に迷いそうになるけれど、よく見ると赤テープがある。まだ明るくて助かった。山頂から

2kmほど下ったところで峠に出た。御飯峠というらしい。小休止を取りたいところであったが、この辺りから道標が現れてきたので、分かるうちにちょっとでも下りたい気分になってしまった。休まず歩いて無事に湖畔へ出たのは15時。



空と山と湖面と私

やはり本栖湖西面の南北道路も封鎖されていた。要は冬場の浩庵キャンプ場南西側は封鎖ということ。雪にまみれたキャンプ場の横を通りながら別にここで寝ても良いんだけど。と思うが、そうはいかないわけで。



ゲートがなければチェックインなのになあ

下山後は湖畔沿いの公道を長々と歩いて駐車地へ。急いでジムニーに乗車。も

うひとつの浩庵キャンプ場に着いたのが16:15 とタイトなタイムスケジュールであった。

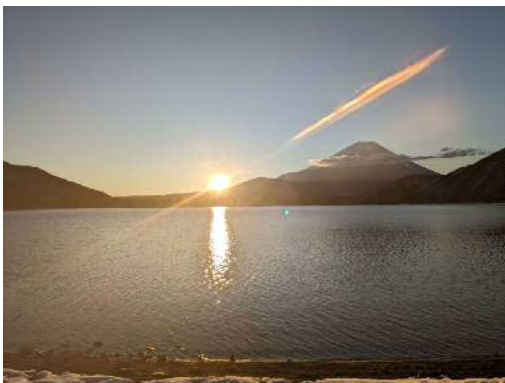


ツェルト設営。手軽さが何よりも良い。

受付と同時にビールを購入、夜は一人鍋。締めはラーメンでまったり。



マイブームのお鍋



翌朝。本日は快晴



-20°C? さすがにそれは無い。

今回の山行はゲート封鎖により行程が大きく変動し、ろくな休憩も取れず時間に追われる山行となってしまった。今後は事前情報をしっかりと得てから山に向かうべきだと反省した。

<タイム>

本栖湖スポーツセンター前(7:50)-竜ヶ岳(9:30)-端足峠(10:15)-雨ヶ岳(12:20)-御飯峠(14:00)-佛峠(14:30)-本栖湖湖畔(15:00)-本栖湖スポーツセンター前(15:50)-浩庵キャンプ場(16:15頃)

(齋藤 記)